

機能訓練、認知症予防の介護施設に特化 大学との連携プログラムにより需要を創出

平成22年静岡県静岡市に通所介護施設を創業。元気で長生き、寝たきり老人のいない町づくりを目指し「元気広場」を運営している。「自立支援型」通所介護施設を直営8施設、加盟店方式で11施設を展開している。大学等と独自の機能訓練、認知予防プログラムを開発することで、自宅で自立生活が送られるサービスを提供している。元気で笑顔が集まる広場、通うこと、良くなることを楽しみに、通所介護施設の新しい形を提案する。

●所在地	静岡県静岡市葵区御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル14F
●電話/FAX	054-205-5808/054-205-5810
●URL	http://www.genkihiroba.jp
●代表者	代表取締役社長 竹内 豪一

●設立	2010年
●資本金	2,000万円
●従業員数	200名



機能訓練、認知予防の独自システムにより高い需要を創出

「自立支援型」のデイサービスを目指し、体系的なリハビリテーションプログラムにより、利用者の身体・生活機能の向上、認知症予防を目指し、自宅での自立生活が送られるように支援を行っている。他業種と連携することで、独自の介護プログラムを多数所有しており、フランチャイズでも同様の効果を発揮している。具体的な課題を利用者に明示し、目標を設定することで、積極的な参加を促し、満足度を高めている。昨年比で利用者も2倍に増加し、8期連続増収増益を達成している。



「自立支援型」のデイサービス

大学との連携によるリハビリテーションプログラムの共同開発

在宅生活を想定した、リハビリテーションプログラムを常葉大学准教授と共同で開発し、日常生活上の課題（例：寝返り、起上り）を摘出し、オーダーメイドで利用者ごとの運動プログラムに反映させている。「どこでも」「だれでも」同一の効果を得られることが特徴で、特許も取得している。筑波大学とも、認知症予防プログラムの共同開発を行っている。異分野企業とも連携して、小型カメラやスマートフォンアプリを活用した、リハビリテーションプログラムの開発、AIの活用研究等も行っている。



リハビリテーションプログラムの実施

限定正社員制度の導入等により多様な働き方と活躍の場を提供

「限定正社員制度」の新設により、勤務地や職務、労働時間や曜日選択が設定可能となり、今まで正社員になることを敬遠していたパート職員が、正社員を目指す一つの制度として活用されている。パートから限定正社員となる人材も多く、正社員の女性比率は、10%未満から30%超となっている。業界では人材の確保が難問となっているが、安定的に働ける環境の提供と女性の活躍の場を提供している。働きやすい環境の提供により、地域雇用と地域経済の活性化に貢献している。



限定正社員制度の働く職場